

論文 / 著書情報  
Article / Book Information

題目(和文)	自然環境と地域社会の一体的再生を促進するランドケア運動の仕組みに関する研究
Title(English)	
著者(和文)	前川智美
Author(English)	Tomomi Maekawa
出典(和文)	学位:博士(学術), 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:甲第10280号, 授与年月日:2016年6月30日, 学位の種別:課程博士, 審査員:桑子 敏雄,坂野 達郎,猪原 健弘,後藤 美香,中丸 麻由子
Citation(English)	Degree:Doctor (Academic), Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:甲第10280号, Conferred date:2016/6/30, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	審査の要旨
Type(English)	Exam Summary

(博士課程)

## 論文審査の要旨及び審査員

報告番号	甲第	号	学位申請者氏名		前川 智美		
			氏名	職名			
論文審査 審査員	主査		桑子 敏雄	教授	中丸 麻由子	准教授	
	審査員		坂野 達郎	教授			
				猪原 健弘	教授		
				後藤 美香	教授		

### 論文審査の要旨 (2000 字程度)

本論文は、「自然環境と地域社会の一体的再生を促進するランドケア運動の仕組みに関する研究」と題し、全 10 章からなる。その目的は、自然環境と地域社会の一体的な再生を促進するにはどのような仕組みが有効か、さらに、その仕組みを構築するためにはどのような要素が必要かということをも明らかにすることである。

序章では、研究の概要、背景、先行研究における本研究の位置、目的と方法、構成、成果について述べており、本研究が日本における自然資源管理の課題を念頭に、オーストラリアの全国的な自然再生運動ランドケアに着目してその構造分析をおこなうものであることを論じている。

第 1 章「日本の里山における自然の維持管理に関する課題と取り組み」では、日本の里山における自然環境の荒廃は、高齢化・人口減少による農林業と地域社会の衰退と不可分な関係にあり、この課題を解決するためには、各地域で課題に取り組む団体とその活動を支援する仕組みが必要であることを明らかにしている。

第 2 章「自然と地域社会の再生における市民参加とパートナーシップ」では、政府との役割分担に基づいた協働により、地域グループどうしの相互交流と連携を促進する仕組みが必要であることを明らかにしている。

第 3 章「オーストラリアの自然環境と地域社会に関する課題」では、オーストラリア全土で地域レベルの自然資源管理活動を展開しているランドケア運動に着目し、その背景には、白人の入植を契機とした自然環境の変化とそれによる生物多様性喪失等の危機の存在等があったことを明らかにしている。

第 4 章「ランドケア運動発足から全国への展開の経緯」では、同運動の全国的な展開の経緯には、連邦政府が全国に自然資源管理のための機構を設置するなど、個々の地域活動や支援を結ぶネットワークが全国規模で展開するための制度的な基盤が整備されていたことを明らかにしている。

第 5 章「ランドケア運動における地域活動の実態と特徴」では、ランドケア・グループは地域住民を中心とした構成メンバーにより自主的・自律的に結成・運営されており、地域の幅広い世代の人びとの交流を促進し、地域の知恵の継承と地域福祉の増進に貢献していることを明らかにしている。

第 6 章「ランドケア運動における主要な組織的アクターとその役割の同定」では、ランドケア運動における主要な組織的アクターは 9 種あり、全国規模の多層的な地域グループ支援の仕組みを構成していることを明らかにしている。

第 7 章「運動を促進するコーディネータの配置・機能・育成」では、主要な組織的アクターにおける関係者やその他の団体や個人の間における人材や情報、技術などの共有あるいは分配を仲介するコーディネータとして 6 種の役割を同定し、広大なオーストラリアにおける全国規模のネットワーク構築・維持のための重要な役割を担っていること、ランドケア運動におけるコーディネータの役割を担う人材確保の方法には、政府からの資金提供によるコーディネータの雇用支援など、地域内人材の育成があることを明らかにしている。

第 8 章「ランドケア運動における政府と市民のパートナーシップ」では、ランドケア運動では、州政府と連邦政府による 4 つの支援（情動的支援、経済的支援、技術的支援、動機づけによる支援）が存在すると同時にこれら支援の根底に地域グループの自律性を尊重する理念があることを明らかにしている。

第 9 章「持続可能な自律的地域活動を支援する仕組みのモデル化」では、ランドケア運動のもつ構造の有用性および課題について論じながら、ランドケア運動における特徴的な要素を抽出することを通じて、持続可能な自律的地域活動を支援の仕組みとしてモデル化し、他国・他地域に適用可能な枠組みとして提示している。そのうえで、ランドケア運動の構造における 3 つの特徴的な要素を抽出し

て、自然再生と地域社会の一体的再生のための地域グループ支援のモデルを提示している。

第10章「日本における地域グループ支援のモデル適用に向けた検討」では、日本におけるモデル適用に向けた実践事例として、「ランドケア・ジャパン設立準備室」の立ち上げと今後の展開の見通しを検討することを通じ、日本における自然環境と地域社会の一体的再生のための自律的な地域グループ支援の仕組みづくりに向けた方策を提示している。

終章では、第1章から第10章までの内容をまとめ、さらに、本研究の結論として、ランドケア運動の構造における3つの特徴的な要素を示し、自然再生と地域社会の一体的再生のための地域グループ支援のモデルを提示している。

以上を要するに、本論文は、自然環境と地域社会の一体的な再生を促進するには何が必要かという問いに対し、ランドケア運動における仕組みの分析と考察を通じ、自主的・自律的な地域グループの立ち上げと運営を支援する、政府と民間組織の連携を基盤とした地域順応型の仕組みが有効であると同時に、その仕組みを構築するためには、①全国規模での多主体連携の制度と精神の構築、②コーディネータによる地域適合型の柔軟な支援とそのための人材の確保、③政府による地域の自律性を尊重した包括的な支援の整備が必要であることを明らかにしており、学術上貢献するところ大である。よって、博士（学術）の学位を授与することが十分適切であると認める。

注意：「論文審査の要旨及び審査員」は、東工大リサーチリポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。